

平成25年度

筑紫野市教育委員会
点検・評価報告書

平成26年12月

筑紫野市教育委員会

目 次

I. はじめに	2
II. 教育委員会の活動状況等	2
(1) 教育委員会の構成	2
(2) 教育委員会会議付議事項	3
(3) その他の活動状況	5
III. 事務事業の点検・評価	6
<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>	
1. 学校教育の充実	7
2. 青少年の健全育成	12
3. 生涯学習・社会教育の推進	18
4. スポーツ・レクリエーションの推進	33
<認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成>	
5. 人権意識の向上	37

I. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

II. 教育委員会の活動状況等

(1) 教育委員会の構成

(平成26年4月1日現在)

委員の区別	氏名	年齢	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
委員長	近本 明	79	H24. 10. 04	H28. 10. 03
委員（委員長職務代理者）	潮見 眞千子	61	H25. 12. 21	H29. 12. 20
委員	西村 幸子	41	H24. 06. 23	H28. 06. 22
委員	古賀 勇	52	H23. 03. 07	H27. 03. 06
教育長	上野 二三夫	63	H25. 01. 01	H28. 12. 31

(2) 教育委員会会議付議事項

開催回数	開催日	定臨別	議案番号	件名
1	平成25年 4月24日	定例		議案なし
2	5月28日	定例	第16号 第17号 第18号 第19号 第20号 第21号	○筑紫野市立山家幼稚園の保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市学校運営協議会制度推進委員会要綱の制定について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について
3	6月27日	定例		議案なし
4	7月25日	定例	第22号 第23号 第24号 第25号	○平成26年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について ○筑紫野市立図書館協議会委員の委嘱について ○市長の権限に属する事務の委任について ○教職員の不適切な指導に伴う処分について
5	8月29日	定例	第26号 第27号 第28号 第29号	○学校運営協議会を設置する学校の指定について ○一般社団法人筑紫野市体育協会事業等の報告について ○財団法人筑紫野市管理公社事業等の報告について ○筑紫野市一般会計（教育関係）補正予算について
6	9月30日	定例	第30号 第31号 第32号	○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について ○学校運営協議会を設置する学校の指定について ○教職員の不適切な指導に伴う処分について
7	10月30日	定例		議案なし
8	11月28日	定例	第33号 第34号 第35号 第36号 第37号	○筑紫野市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市講座等受講料徴収条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市歴史博物館設置条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市文化会館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

開催回数	開催日	定臨別	議案番号	件名
			第38号	○筑紫野市民図書館資料の弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について
			第39号	○筑紫野市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例及び筑紫野市農業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
			第40号	○筑紫野市いきいき元気人養成講座に関する規則を廃止する規則について
			第41号	○平成24年度筑紫野市教育委員会点検・評価報告書について
			第42号	○筑紫野市コミュニティ施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
			第43号	○筑紫野市自転車の放置防止に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
9	12月26日	定例	第44号	○平成25年度筑紫野市一般会計補正予算(第3号)〈教育費〉について
			第45号	○筑紫野市奨学生の選考について
			第46号	○筑紫野市奨学生の選考について
			第47号	○筑紫野市奨学生の選考について
			第48号	○筑紫野市奨学生の選考について
10	平成26年 1月28日	定例	第1号	○筑紫野市講座等受講料徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
			第2号	○指定管理施設の利用料金及び講座受講料の一部改正について
11	2月25日	定例	第3号	○平成25年度筑紫野市一般会計補正予算(第4号)〈教育費〉について
			第4号	○平成25年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算(第1号)について
			第5号	○平成26年度筑紫野市一般会計予算〈教育費〉について
			第6号	○平成26年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について
			第7号	○筑紫野市公民館設置条例の廃止について
			第8号	○小郡市及び筑前町との図書館の相互利用に関する協定について
			第9号	○筑紫野市立図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
			第10号	○平成26年度筑紫野市教育施策要綱について
			第11号	○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
			第12号	○平成26年度筑紫野市立小中学校の給食費について

開催回数	開催日	定臨別	議案番号	件名
12	3月26日	定例	第13号	○筑紫野市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
			第14号	○筑紫野市教育行政に関する相談事務を行う職員を指定する規則の制定について
			第15号	○筑紫野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について
			第16号	○筑紫野市文化振興実施計画（案）について

以上の付議事項は全て可決されました。

(3) その他の活動状況

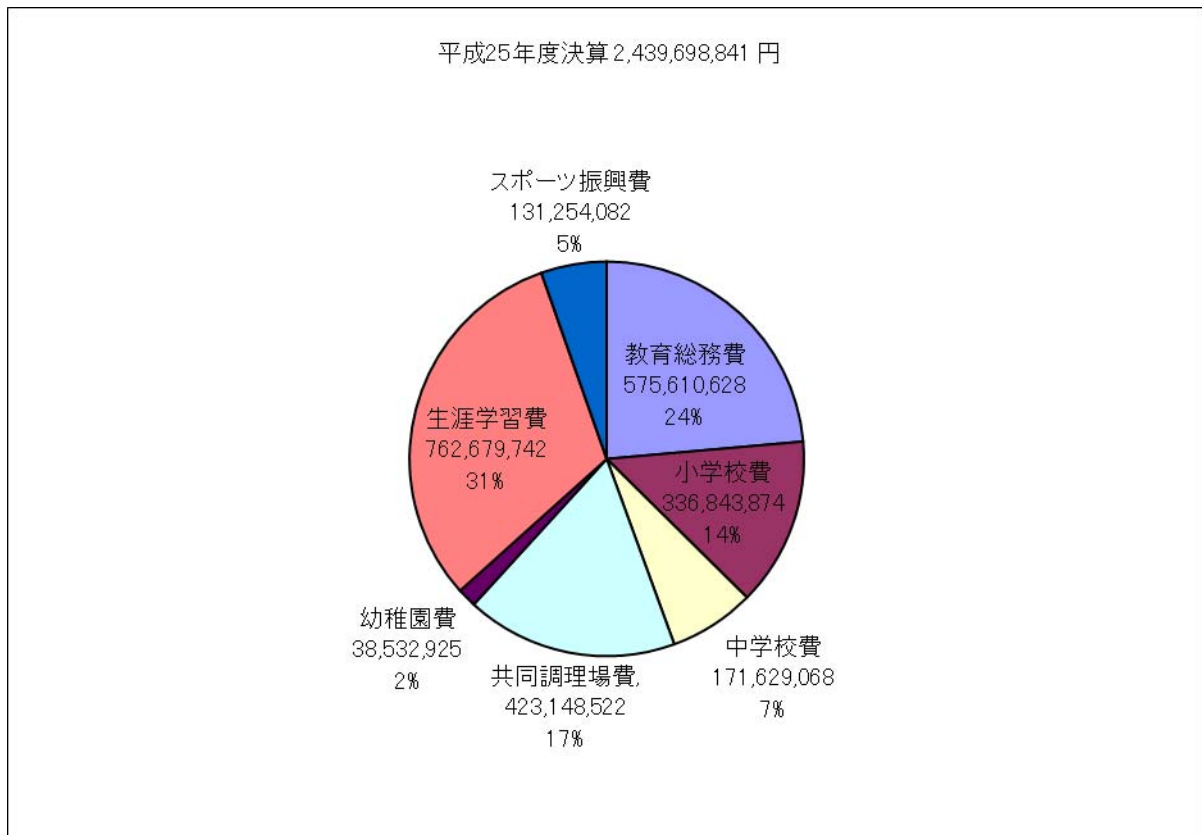
- ① 学校訪問・・・市内全小中学校を訪問
- ② 各種行事等・・・入学（園）式、卒業式、運動会、体育会、教職員赴任式等に出席
- ③ 研修等・・・九州地区教育委員研修大会・筑紫地区教育委員研修会等に参加
- ④ その他・・・定期的学校訪問

Ⅲ. 事務事業の点検・評価

本市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行う事務事業評価制度を導入し、事務の効率化を図っています。

(1) 教育費の決算状況

平成25年度の教育費関係決算額24億3,969万8,841円で、一般会計(320億5,675万3,907円)に占める教育費の割合は7.6%となっており、昨年度の12.6%と比べて5%減少しています。また、教育費関係決算額についても昨年度38億3,937万4,902円から平成25年度決算額24億3,969万8,841円となっており、13億9,967万6,061円減額になっております。これは、平成24年度に二日市小学校、二日市東小学校、二日市中学校の3校で耐震化工事を実施し、市内の全ての小中学校の耐震化工事が終了したことによるものです。



(2) 事務事業評価

- A 成果があがっている
- B どちらかといえばあがっている
- C あがっていない

生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備

1. 学校教育の充実

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
教育環境の整備	1. 児童生徒等通学支援事業	●児童の通学途上における安全確保を講じることにより教育環境を良好に保つ。	A
		◇天山バス…児童数24人 稼働204日 平等寺除雪…除雪等回数2回 馬市タクシー…児童数3名 稼働198日 天拝小…指導日数198日 二日市東…指導日数198日	
教育環境の整備	2. 小学校備品等整備事業	●小学校図書館の図書及び教師用図書の購入	B
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 5,329,109円	
教育環境の整備	3. 中学校備品等整備事業	●中学校図書館の図書及び教師用図書の購入	B
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 2,973,176円	
教育環境の整備	4. 私立幼稚園育成助成金	●公立幼稚園が1園しかなく、それを補完する私立幼稚園の振興	B
		◇市内私立幼稚園7園に助成 均等割及び園児数割 計2,400,000円	
教育環境の整備	5. 原田小学校プレハブリース事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		原田小学校通学区域での急激な児童数の増加により、当面普通教室等が不足するため6教室のプレハブ校舎を建設。	
教職員の資質の向上	6. 情報教育推進事業	●情報教育の活性化及び各教科においてコンピュータを有効に利用するために、コンピュータ機器を万全な状態にしておくことで、問題なく授業を行う。	A
		◇平成21年度から22年度にかけ、学校ICT環境整備事業を活用し、平成23年度末までに市内全小中学校のコンピュータ教室の機器の更新を行った。現在は適正に管理されている。	

教職員の資質 の向上	7. 小中学校教育研究 指定校補助金	●児童生徒への授業の力量を高める実践的研究を行い、指定校において公開授業等の研究成果を広く公開していく。	A
		◇研究指定校 1年目（二日市東小、二日市北小、筑山中） 2年目（天拝小、吉木小、筑紫野中） 3年目（阿志岐小、山口小、筑紫野南中） ※研究発表会：阿志岐小（156名）、山口小（160名） 筑紫野南中（227名）	
教職員の資質 の向上	8. 学校教育研究会 補助金	●教育研究会等にそれぞれの教職員が参加することで、当該専門的知識の習得や幅広い知識の習得を目指すとともに、学校運営の円滑化を図る。	B
		◇講演、実践発表を実施。 ・市教育研究会研修2回 ・筑紫地区教育懇談会研修2回 ・筑紫野市・太宰府市研究会合同研修会1回	
確かな学力の 育成	9. 外国語教育推進 事業	●日本語的英語ではなく、現地の英語や文化習慣に触れる時間を多くして、身近に触れさせている。	A
		◇ALT3名(内訳：市単費3名) 年間派遣時数：中学校 997時間 小学校 880時間 英語スピーチコンテストの実施 11/16(土) 生涯学習センター視聴覚室において実施	
確かな学力の 育成	10. 少人数指導推進 事業	●学級や学校全体の人数を分割し、子ども一人ひとりに目が行き届くようきめ細かな指導を行い、学力の向上を図る。	A
		◇小学校2年生までの少人数学級を行うため、市費非常勤講師を配置。25年度は講師3名を配置し、1名当たり年間723時間の活用を行った。	
確かな学力の 育成	11. 読書活動推進事 業	●児童・生徒に読書活動を定着させ、確かな学力の育成につなぐために全小学校に図書司書を各1名（週16時間）配置するとともに、標準図書数達成に向け、図書購入費を配分している。	A
		◇年間一人当たりの貸出冊数が11.06冊増（24年度：31.38冊／25年度：42.44冊）と2年連続して大きく伸びている。環境面の改善も大きく進んでいるが、標準図書数の達成については、廃棄処分などとの関係もあり、複数年次を要すると見込まれる。	

豊かな心の育成	12. 中学校文化・体育 奨励事業	<p>●学校体育・スポーツ・文化活動を通じて、規範意識の向上や道徳性を身に付けるため、文化体育活動に対する補助及び関係団体への負担を行う。</p> <p>◇（文化）</p> <p>5校： 841,710円</p> <p>（体育）</p> <p>筑前大会： 825,520円</p> <p>県大会： 610,600円</p> <p>九州大会： 195,600円</p> <p>全国大会： 50,000円</p> <p>新人戦筑前大会：579,380円 県大会：221,480円</p> <p>（負担金）</p> <p>筑紫地区中学校体育連盟負担金 584,415円</p> <p>筑紫地区中学校文化連盟負担金 84,730円</p>	A
豊かな心の育成	13. 生徒指導総合推 進事業	<p>●児童生徒の抱える問題や取り巻く環境の課題に対し、学校のみでは解決が困難な事案に関して総合的に解決を図るため、専門的な人材を配置・派遣することにより解決への支援を行っている。</p> <p>◇「適応指導教室」に指導員3名（1名はスクールカウンセラー兼務）を配置し、ヤングアドバイザーの協力を得て、学校へ登校できない児童生徒延べ18名に対し、集団生活に適応するための援助及び指導を行いながら学校復帰を支援した。</p> <p>◇市内中学校5校に「心の教室相談員」5名を配置し、生徒の心の居場所づくりを行った。</p> <p>◇市内中学校3校に「不登校対策専任指導員」3名を配置し、家庭訪問等により不登校（傾向）の生徒の学校復帰に向けた支援・指導を行った。</p> <p>◇本年度から「スクールソーシャルワーカー」1名を市教委に配置し、児童生徒を取り巻く生活環境も含めた諸課題に対し、関係部署と連携しながら必要な支援の情報提供等を行うことで、その課題解決に取り組んだ。</p> <p>◇小中学校に、県費や市雇用の「スクールカウンセラー」を派遣し、心理検査やカウンセリング等により児童生徒、保護者等の抱える心の問題の解決を図った。</p>	B

健やかな体の育成	14. 学校保健管理事業	●健康診断を行うことで、児童・生徒及び職員の健康の保持増進を図る。	A
		◇学校保健安全法による事業 一般健康診断（123名） 胃検診（109名） 尿検査（1次：9, 122名、2次：294名） ぎょう虫検査（6073名） 心臓（1次：2, 034名、2次：82名） 結核（1次：384名、2次：12名） 学校検診（9, 030名） 就学前検診（1, 007名）	
健やかな体の育成	15. 体力向上推進校指定事業	●市内小中学校の中から体力向上の推進に意欲的な学校を指定し（単年度：小学校2校、中学校1校）、実践研究の成果を市内小中学校に広げて行く。	A
		◇25年度指定校：吉木小、二日市北小、筑紫野中 各校の「体力向上プラン」に基づいて実践された結果が、確実に数値に反映されている。	
健やかな体の育成	16. 共同調理場給食運営事業	●学校給食は、児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供することにより、すべての児童生徒の健康増進と体位の向上を図っている。	A
		◇市内の小中学校の児童生徒及び教師等に年間187日（約9, 600食/日）の給食を共同調理場方式で実施した。 小学校8校が2学期制をとっているため、3学期制の学校よりも3日早く給食開始している。	
健やかな体の育成	17. 筑紫野市学校給食会助成金	●市学校給食会に助成金を交付することで、給食会の運営が円滑に行われる。	A
		◇調理員衛生講習会や市料理コンクールの実施。県主催の料理コンクール出場、栄養教諭・栄養職員が研修・研究大会へ参加し、献立作りに活かしている。 食育推進に関する事業として、親子料理教室の開催、食育だよりを毎月発行、小学3年生を対象にした学校訪問では、学校給食と連携した食に関する指導を行い児童との会食を行なった。	
就園、就学の支援	18. 専修学校等技能習得資金貸与事業	●就労に必要な技能及び知識の習得を図り、社会において有為な人材の育成を図る。	C
		◇広報及びホームページにより周知を図ったが、専修学校のうち対象となる学校等が限られていることもあり、平成25年度は申請者がなかった。	

就園、就学の支援	19. 学校就学援助・奨励事業	●経済的な理由によって就学困難な児童生徒への義務教育の就学を円滑に行う。	A
		◇援助児童生徒数実績 要保護 : 32人 準要保護 : 1,498人 合計 : 1,530人 特別支援就学奨励実績 小学校 : 49人 中学校 : 23人 合計 : 72人	
就園、就学の支援	20. 遠距離通学補助事業	●遠隔地にある学校への通学支援を行うことで幼児教育、義務教育を受ける環境を整えることができる。	A
		◇遠距離通学対象者児童生徒数 13人	
就園、就学の支援	21. 幼稚園就園奨励等事業	●公立・私立幼稚園に在園している3・4・5歳児に幼稚園教育の振興を図るため、幼稚園保育料等の補助を行う。	A
		◇公立 11人(減免) 私立 1,250人	
就園、就学の支援	22. 奨学資金貸付事業	●経済的理由によって進学又は修学が困難な生徒に対し学資を貸与し、有用な人材の育成を図る。	A
		◇新規貸与者として、高校生4名、大学生3名を採用した。 高校生9名、大学生1名に対し継続して貸与を行った。	
就園、就学の支援	23. 山家幼稚園預かり保育運営費補助金	●山家地区の保育機能の一部を担い、就労などにより、長時間の保育を必要とする保護者を支援する。	A
		◇最大利用者数 31名/月 年間延利用者数 5,735名/年	
施策の総合推進	24. 特別支援教育推進事業	●市内小中学校に在籍する、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する。	A
		◇特別支援学級設置16校中14校に介助員を配置した。(複数配置校があるため、30名配置(山家幼稚園に別途1名配置))	

2. 青少年の健全育成

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	25. 地域子ども会活動費補助金	● 単位子ども会の活性化を図る。 子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。	A
		◇ 単位子ども会支援策として、補助金総額2,168,000円を交付した。交付単位子ども会数：51団体	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	26. 子どもセンター事業	● 子ども向けの情報誌を作成し配布することにより子どもたちの体験活動の推進を図る。	A
		◇ 子ども情報誌「キッズ・ウィンドー」の発行 7月、10月、3月 各13,500部発行 配布先： 市内各小学校・中学校 9,510部、高校100部 市役所・市施設等 3,700部 市内公共施設、各郵便局、農協等 190部	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	27. 生涯学習フェスティバル青少年部会事業	● 青少年関係団体の活動状況等の紹介をすることで、より多くの青少年が青少年プラザを容易に利用できるようになる。	A
		◇ ・青少年関係団体の活動状況等の紹介 ・青少年プラザを利用した遊びの体験 ・青少年に関する情報のアピール ・期日：平成25年10月26日（土）・27日（日） ・お化け屋敷	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	28. 竜岩自然の家主催講座事業	● 施設を取り巻く豊かな自然環境や学習資源を生かしながら、多彩な学習プログラムの提供を図り、利用者の自然体験活動等の体験者を増やす。	A
		◇ 市民の自然体験活動等の推進を図るための主催事業を実施した。 ・ドラゴンロック 参加者 760人 ・フリークライミング教室 参加者 572人 (少年240人 一般287人) ・工作教室 参加者 145人 ・ニュースポーツ&野外ゲーム 参加者 224人 ・季節のむかしおやつ作り 参加者 79人 ・ファミリーキャンプ 参加者 101人 ・初心者登山教室 参加者 35人 ・野鳥観察会 参加者 117人 ・ほっけんぎょう 参加者 40人 ・しめ飾り作り 参加者 25人 ・ボランティア研修会 参加者 15人	

<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>29. 青少年育成事業 (BGレンジャー) 補助金</p>	<p>●様々な体験活動や行事等を通じて心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。</p> <p>◇心豊かな青少年の育成とまちづくりを推進するための事業支援策として、事業に補助金総額365,500円を交付した。</p> <p>・新規分：2件、200,000円 大石区：大石区BGレンジャー実行委員会 100,000円 湯町区：湯町公民館お泊まり実行委員会 100,000円</p> <p>・継続分：3件、165,000円 若江区：若江振興太鼓継承実行委員会 70,000円 山家区：山家の歴史を学ぶ会実行委員会 65,500円 天拝坂区：公民館ごろ寝合宿実行委員会 30,000円</p>	<p>B</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>30. 子どもフェスティバル事業補助金</p>	<p>●子どもたちが、友達と協力しあって地域でいきいきと遊ぶことができている。</p> <p>◇第13回子どもフェスティバルちくしの&第22回子ども市を実行委員会形式で実施 期日：平成25年4月28日(日) 会場：カミーリヤ 内容：子ども市、昔遊びコーナー、ちびっこ遊びコーナー、人形劇、おもちゃ病院、等</p>	<p>A</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>31. 青少年プラザ事業</p>	<p>●青少年プラザを青少年の交流の場として開放し、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場として、また、情報提供や体験学習の場として提供することにより、青少年がいつでも気軽に集まることができる。</p> <p>◇少年の交流の場、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場、また、情報提供や体験学習の場として提供した。</p> <p>・情報コーナー ・みんなの掲示板 ・作品展示 ・様々な企画の実施</p>	<p>B</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>32. 夏休み学校外活動事業</p>	<p>●地域の方との交流を通じて子どもたちに「世代間交流」や「同世代と一緒に、外で体を動かして遊ぶ楽しさ」を体験させることにより、子どもたちが地域の中での遊びを通じて生きる力を身につけ、また、地域全体で子どもを見守っていく環境を育てる。</p>	<p>A</p>

		<p>◇「ステキな夏休み教室」を下記の3公民館で実施</p> <p>①宮の森公民館 ・期日：8月6～9日（4日）；9：30～15：00 ・参加者：15名</p> <p>②牛島公民館 ・期日：8月19～22日（4日）；9：30～15：00 ・参加者：18名</p> <p>③桜台公民館 ・期日：8月22～24日（3日）；9：30～15：00 ・参加者：17名</p>	
青少年の居場所づくり	33. 放課後子ども教室事業	<p>●放課後や週末に小学校の余裕教室等を使用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりを図る。</p> <p>・天拝っ子アンビシャス広場（天拝小校区） ・若葉・中原アンビシャス広場（二日市東小校区）※実施困難 未実施</p>	A
青少年の居場所づくり	34. 筑紫野市通学合宿推進事業	<p>●たくましく豊かな心を育てる（自主性、協調性）、家庭教育を見直す、地域で子どもを育てる気運を高める。</p> <p>◇地域力の向上と子どもたちの成長を目的とする。</p> <p>①光が丘区通学合宿 6泊7日（7月7～13日） ・参加 20人 ・ボランティア（延数）199人</p> <p>②山家区通学合宿 6泊7日（7月7～13日） ・参加 13人 ・ボランティア（延数）205人</p>	A
青少年の居場所づくり	35. 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助金	<p>●市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された筑紫野市子ども会育成会連絡協議会を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金495,000円を交付した。</p> <p>・KYT（危険予知）講習会 参加者 95人 ・子ども会サミット2013in竜岩 参加者 51人 ・市人権問題啓発機関団体研修会 参加者 54人 ・ちくしのカルタ大会 参加者 144人 ・校区別現新役員懇談会（市内7会場）</p>	A
青少年指導者の確保、育成	36. 筑紫野市ジュニ	●ジュニア・リーダーの育成に取り組む団体を財政的に支援する。	A

	ア・リーダーズ・クラブ連絡協議会補助金	◇レクリエーション講習会 □芸術・文化部門 マーチングバンド・クラブ □体育・スポーツ部門 ソフトテニス	
青少年指導者の確保、育成	37. 筑紫野市青年団体連絡協議会補助金	●青少年育成市民会議を通して、青少年の健全育成に資する団体とする。併せて、社会貢献活動を実施する団体とする。 ◇団体支援策として補助金30,000円を交付した。	B
青少年指導者の確保、育成	38. 筑紫野市青少年育成市民会議補助金	●青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす活動を支援する。 ◇団体支援策として補助金200,000円を交付した。 ・市民フォーラム：テーマ「携帯電話やスマートフォンとの関わり方」 参加者 230人 ※5中学校、4高校の代表によるパネルディスカッション ・青少年の健全育成に係る情報交換	A
青少年指導者の確保、育成	39. 子ども会リーダースクール事業	●子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。 ◇新リーダースクール、夏スクール（キャンプ）、秋スクール（子ども会あそび広場）の実施 ①夏のリーダースクール※キャンプは豪雨のため中止、代替として、デイキャンプ 9月21日（土） ・会場：竜岩自然の家 ・参加者：子ども会リーダー 28名、ジュニアリーダー 7名、育成会、スタッフ等：16名 ②秋スクール「子ども体験遊びリンピック」10月26日（土） ・会場：二日市小学校 ・参加者：子ども会リーダー：44名、ジュニアリーダー：4名、育成会、スタッフ等：30名 ③新子ども会リーダースクール 3月2日（日） ・会場（全4会場）：生涯学習センター（2会場）、勤労青少年ホーム、御笠コミセン ・参加者：子ども会リーダー：128名 育成会、講師、スタッフ等：115名	A
青少年指導者の確保、育成	40. 子ども会育成会	●子ども会活動を支援する育成会の役割とその支援のあり方を学ぶことにより子ども会育成会が円滑に運営される。	A

	指導者研修会事業	<p>◇育成会研修会 4月21日(日)</p> <p>テーマ：『これからの子ども会が目ざすもの』</p> <p>コーディネーター：筑紫野市社会教育主事 亀井 美和</p> <p>○事例発表及びディスカッション</p> <p>岡田ふたば子ども会 「父親の育成会参加で大成功！」 ：元育成会長 高田 勝吉氏</p> <p>天拝坂小学生会 「地域の子どもはみんな子ども会の会員」 ～地域で子どもを育てよう！～ ：育成会地域サポーター 北田 忠氏</p>	
青少年指導者の確保、育成	41. 青少年指導員事業	<p>●青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るため筑紫野市青少年指導員を置く。 指導員数：55人(各小学校区：5人)</p> <p>◇青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るための活動を行った。</p> <p>小学校区別巡回・筑紫地区一斉パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会における情報交換 ・校区別主催事業：筑紫小フットベースボール大会(中止)、山家小一泊研修 ・研修会：教育講演「ネット依存・子どもの現状と大人の対応」 	A
環境浄化活動の推進	42. 筑紫野市青少年指導員会補助金	<p>●青少年指導員の自主的活動を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金90,000円を交付した。</p>	A
環境浄化活動の推進	43. 少年補導員会事業	<p>●他市町の補導員会と連携協力し、必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。</p> <p>◇青少年の健全育成、非行防止のための事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催の定例会において情報交換 ・校区内危険箇所の巡回(実施回数：24回) ・視察・研修：大分少年院(10月8～9日) 	A
悩み相談、思春期教育の充実	44. ヤングテレフォン相談事業	<p>●青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的とする。</p> <p>◇青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行った。(件数 783回)</p> <p>PRカード配布、ポスター</p> <p>小中学生(5月・平成26年1月)</p> <p>就学時健診(11月)</p>	B
施策の総合推進	45. 成人式事業	<p>●成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。</p>	A

		<p>◇「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に式典を実施（※実行委員会により）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：平成26年1月12日（日） ・会場：筑紫野市文化会館 ・参加者：757人(出席率 73%) ・記念品：印鑑フォルダー・フォトスタンド ・対象者：1,041人 ・内容：記念式典、記念行事(恩師からのビデオメッセージ・抽選会) 	
--	--	---	--

3. 生涯学習・社会教育の推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	46. 小地区公民館講座推進事業	●小地区公民館における主催講座の開催を促し、学習支援の推進を図ることにより、市民ニーズに応じた学習機会が提供される。	A
		◇地域の活性化やまちづくりにつながる学習が行われた。 講座内容 教育： 5講座（子ども太鼓・子ども囲碁・お菓子作り） 教養： 11講座（紙芝居作り・歴史・習字・陶芸他） 文化： 4講座（しめ縄作り・ほんげんぎょう） 実用： 15講座（折紙・奈良漬作り・そば作り・和紙工芸他） 合計： 35講座 ※小地区公民館では、教育・実用・趣味等多岐にわたり、いろんな学習が行われている。地域の活性化、まちづくりにつながる学習効果は高いと思われる。	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	47. 学びをつなぐ講座事業	●人権尊重の明るいまちづくりのため、学習を通し人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。	A
		◇人権啓発、人権学習のための講座を行った。 講座内容 テーマ：「いきいきと働いて生きてきた」 ～近世被差別民のくらし～（全8回） 1 5月16日 参加：22人 開講式講座 「かわた」と「ひじり（聖）」 ～宗門改帳（過去帳）の意味 2 6月20日 参加：22人 「身分は〇〇、仕事はいろいろ」その1 ～江戸時代の身分の仕組みについて～ 3 7月18日 参加：23人 「身分は〇〇、仕事はいろいろ」その2 ～「生業」のがんばりと強制された「役」～ 4 9月19日 参加：20人 「さまざまなプロの技」 ～“白革なめし”と“人体解剖” 5 10月17日 参加：24人 「正七さん きちさんが恋をした・・・」 ～身分をこえて～ 6 11月21日 参加：18人 館外学習 「秋月地区フィールドワーク」他	

		<p>7 12月19日 参加：18人 「菜の花」と「牛のかたき打ち」 ～絵本から学ぶ部落の歴史</p> <p>8 1月16日 参加：22人 閉校式講座 「まとめとして」</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	48. ちくしの高年大学事業	<p>●高齢者が豊かな経験を生かして社会参加を実践するための学習を奨めるとともに、受講生相互の親睦を深め、生きがいを見出す。</p> <hr/> <p>◇受講生数 98名</p> <p>1. 教養講座 6回</p> <p>①活動発表：1回 題目：「自分色の生き方を見つけよう」 ②生活：1回 題目：「日本の家計簿と高齢者の暮らし」 ③福祉1回 題目：「高齢者における健康づくり」 ④文学：1回 題目：「男はつらいよ - フーテンの寅さんは俳句達人」 ⑤健康：2回 題目：「自分でできる健康法」 ⑥人権：1回 題目：「いまさら聞けない男女共同参画」 ⑦学習実践発表会：1回 ⑧作品展：1回</p> <p>2. 専門講座：13回</p> <p>①郷土史 21人 ②太極拳 14人 ③合唱 25人 ④絵画 16人 ⑤紙版画 9人 ⑥健康レクササイズ 14人</p> <p>3. クラブ活動：8回 社会参加のための技術習得及び実習</p> <p>4. 社会参加活動 夏休み期間中の小学生を対象とした「夏休み工作教室」を実施、工作指導を行なう。 各地区の小学生参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日(木)：二日市地区(二日市コミセン) 53人 ・7月29日(月)：筑紫地区(筑紫多目的集会施設) 40人 ・7月30日(火)：山口地区(山口コミセン) 86人 ・7月31日(水)：筑紫南地区(筑紫南コミセン) 57人 ・8月1日(木)：山家地区(山家小学校) 47人 ・8月2日(金)：御笠地区(御笠コミセン) 69人 <p style="text-align: right;">合計 352人</p> <p>高年大学支援者数 延人数：227人 保護者：5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万葉の里ウォーキングの支援 11月10日(日) (3Kmファミリーコース) 	A

		<ul style="list-style-type: none"> ・阿志岐小フェスタでの工作支援 10月21日(月) <p>研究課程として実施していたゼミ講座「チェンジイせんばあ倶楽部」は、自主学习グループとして独立し、自主活動をして継続。</p> <p>5. 学習成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習フェスティバルでの学習発表及び子どもたちの体験学習の場の設置 10月26～27日 ・学習実践発表会 2月4日 ・作品展 2月4～17日 	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	49. 視聴覚教育・視聴覚ライブラリー事業	<p>●生涯学習センターの視聴覚機材・教材を活用してもらうことにより、市民のニーズに応じた学習ができるようにする。</p> <p>◇教材一覧を各機関等へ知らせることにより貸し出しが拡大、HPにV T教材等の一覧を掲載し、教材の検索ができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外放送機器 36回 ・スクリーン 22回 ・パネル 10回 ・スライド映写機 0回 ・OHP, OHC 3回 ・ビデオプロジェクター館外貸出し 40回 ・ビデオテープ館内、館外貸出し本数 350本 	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	50. いきいき人権ライフセミナー	<p>●身近にある差別や人権問題をテーマとした学習の機会を提供し、人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇子どもに焦点を当て、様々な角度から人権問題を学習した。</p> <p>学習内容(全4回)</p> <p>① 7月3日(水) 参加:26人 題目 「イカリヲアゲロ!」いじめと人権の話 講師:チキンナゲッツ(福岡を拠点とし活動するバンドグループ)</p> <p>② 7月16日(火) 参加:24人 題目 「ヤセイノオキテ」子ども社会の実態 講師:辻 広明(久留米晴明保育園園長)</p> <p>③ 7月30日(火) 参加:19人 題目 「イジメノシグナル」 いじめの仕組みを知り、いじめがおきにくい環境を作ろう! 講師:小田 哲也(NPO法人箱崎自由学舎ESPERANZA)</p> <p>④ 8月28日(火) 参加:22人 題目 「次は僕があなたを守る番だ」 大人にできること、子どもにできること 講師:白水 昭道(筑紫野市教育委員会 学校教育課 教科促進指導員)</p>	B

<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>51. まちをみつめよう学級</p>	<p>●身近な生活課題を学習し「まちの政治」を正しく理解し、明るい選挙の推進を図るとともに、地域のリーダーを育成する。</p> <p>◇選挙や防犯防災、街づくりのための学習を行った。</p> <p>学習内容 選挙管理委員会事務局との共催事業 今年度のテーマ：健康と福祉 受講生：22人</p> <p>○年間実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月15日（水） 参加22人 題目：開級式 ～選挙について～ 講師：森 敬(選挙管理委員会事務局局長) ・6月19日（水） 参加23人 題目：検診から見える筑紫野市の現状+ゲームで交流 講師：野見山 優子（健康推進課） ・7月23日（水） 参加18人 題目：地域における福祉コミュニティの構築 講師：山崎安則（筑紫女学園大学教授） ・8月21日（水） 参加19人 題目：ジェネリック医薬品について 講師：飯島 稔(保健医療介護部薬務課) ・9月18日（水） 参加21人 題目：ひかり通学合宿の取り組みについて 講師：中山 雄夫（光が丘区長） ・10月16日（水） 参加19人 題目：館外学習（大木町循環センターくるるん） ・11月25日（月） 参加16人 題目：社会見学（筑紫地区交流事業） 三池炭鉱連施設 ・12月18日（水） 参加16人 題目：筑紫女学園大学 学生との交流 ・1月15日（水） 参加17人 題目：筑紫地区リーダー研修会 ・2月19日（水） 参加22人 題目：学びの成果を地域で活かす 講師：亀井 美和（生涯学習課） ・3月19日（水） 参加22人 題目：閉級式 ～年間反省会～ 	<p>B</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>52. コミュニティ主催事業</p>	<p>●地域の豊かな学習資源を生かした学習機会の提供をはかり、学習の成果を活かして、地域やコミュニティ施設における生涯学習活動や地域活動に参画する。</p>	<p>A</p>

		<p>◇郷土の歴史や健康、料理など地域や生活に密着した講座を行なった。</p> <p>講座内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・二日市コミセン</td> <td>6講座</td> <td>184人</td> <td>1,332人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">歴史講座、シニア音楽サロン、健康講座など</td> </tr> <tr> <td>・山口コミセン</td> <td>11講座</td> <td>271人</td> <td>1,616人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">史跡めぐり 里山ウォーキングなど</td> </tr> <tr> <td>・御笠コミセン</td> <td>9講座</td> <td>163人</td> <td>1,021人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">御笠を知ろう25 スポチャレ倶楽部など</td> </tr> <tr> <td>・山家コミセン</td> <td>13講座</td> <td>190人</td> <td>2,425人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">ちくしの歴史さんぽ すこやか健康クラブ など</td> </tr> <tr> <td>・筑紫多目的集会所</td> <td>9講座</td> <td>648人</td> <td>2,209人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">生き生きパソコン634ネット 筑紫の郷土史講座など</td> </tr> <tr> <td>・筑紫南コミセン</td> <td>10講座</td> <td>458人</td> <td>2,215人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">はつらつウォーキング、親子でエンジョイなど</td> </tr> <tr> <td>6館合計</td> <td>58講座</td> <td>1,914人</td> <td>10,818人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	講座数	参加者数	延人数	・二日市コミセン	6講座	184人	1,332人	講座名	歴史講座、シニア音楽サロン、健康講座など			・山口コミセン	11講座	271人	1,616人	講座名	史跡めぐり 里山ウォーキングなど			・御笠コミセン	9講座	163人	1,021人	講座名	御笠を知ろう25 スポチャレ倶楽部など			・山家コミセン	13講座	190人	2,425人	講座名	ちくしの歴史さんぽ すこやか健康クラブ など			・筑紫多目的集会所	9講座	648人	2,209人	講座名	生き生きパソコン634ネット 筑紫の郷土史講座など			・筑紫南コミセン	10講座	458人	2,215人	講座名	はつらつウォーキング、親子でエンジョイなど			6館合計	58講座	1,914人	10,818人	
施設名	講座数	参加者数	延人数																																																								
・二日市コミセン	6講座	184人	1,332人																																																								
講座名	歴史講座、シニア音楽サロン、健康講座など																																																										
・山口コミセン	11講座	271人	1,616人																																																								
講座名	史跡めぐり 里山ウォーキングなど																																																										
・御笠コミセン	9講座	163人	1,021人																																																								
講座名	御笠を知ろう25 スポチャレ倶楽部など																																																										
・山家コミセン	13講座	190人	2,425人																																																								
講座名	ちくしの歴史さんぽ すこやか健康クラブ など																																																										
・筑紫多目的集会所	9講座	648人	2,209人																																																								
講座名	生き生きパソコン634ネット 筑紫の郷土史講座など																																																										
・筑紫南コミセン	10講座	458人	2,215人																																																								
講座名	はつらつウォーキング、親子でエンジョイなど																																																										
6館合計	58講座	1,914人	10,818人																																																								
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>53. ちくしの文化講座事業</p>	<p>●市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動が行われている。</p> <p>◇市民の様々なニーズに応じた学習を提供した。</p> <p>講座内容</p> <p>①趣味教養講座 693人(定員1,201人)延4,251人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 : 31講座 ・1日体験講座: 6講座 <p>(ジュニア講座・音楽講座・暮らし実用講座・手芸工芸講座・外国語講座・歴史講座など)</p> <p>②料理講座29講座 421人(定員624人)延664人</p> <p>③パソコン講座29講座 294人(定員438人)延1,034人</p>	<p>A</p>																																																								
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>54. 生活学校連絡会(補助金)</p>	<p>●生活学校相互の連絡をはじめ生活学校運営の情報交換を行い消費生活の向上を図る。</p> <p>◇各生活学校の運営や活動を協議し消費生活の向上に取り組む運動を今後も継続していく。</p> <p>環境・教育・福祉・くらし等の諸問題についての取組みを行っていく。</p> <p>筑婦生活学校の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題の学習 ・天拝山ロードレースの支援 ・古紙回収 <p>※みかさ生活学校については、22年度から廃校</p>	<p>B</p>																																																								

<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>55. 女性大学講座補助金</p>	<p>●趣味的なものから学術的なものまで多面にわたる講座を開催することにより女性の地位向上を図る。</p> <p>◇女性の地位向上に向け、様々な講座が実施された。</p> <p>講座内容</p> <p>① 第1・2・3月曜日 社交ダンス・ハワイアンフラダンス 書道教室・卓球教室A, B, C</p> <p>② 第1・2・3火曜日 日舞教室・ゴルフ</p> <p>③ 第1・2・3水曜日 民謡・三味線・カラオケ・太極拳・卓球教室・洋裁教室・リフォーム教室</p> <p>④ 第1・2・3木曜日 太極拳・健康教室</p> <p>⑤ 第2・3・4金曜日 歌謡教室</p> <p>⑥ 第1・2・3土曜日 詩吟教室</p> <p>⑦ 第1・3火曜日 生花教室</p> <p>⑧ 第1・3木曜日 生花教室・茶道教室</p> <p>⑨ 第1・3金曜日 かな書道・歌謡教室</p> <p>⑩ 第2・4月曜日 パッチワーク教室</p> <p>⑪ 第2・4火曜日 コーラス</p> <p>⑫ 第2・4水曜日 トールペイント</p> <p>⑬ 第2・4木曜日 夜間ペン、かな書道・トールペイント</p> <p>⑭ 第2・4金曜日 ペン習字1、2・茶道・水墨画・手編み</p> <p>⑮ 第2・4土曜日 書道入門</p> <p>⑯ 第2水曜日 クッキング、歌謡教室</p> <p>⑰ 第4水曜日 男性料理専科</p>	<p>A</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>56. 生涯学習センター自主学习グループ連絡会補助事業</p>	<p>●自主学习グループの成果を持ち寄り、市民に公開・交流を行う。</p> <p>◇活動内容</p> <p>①自主学习グループまつり（生涯学習フェスティバルに参画）実行委員会を結成し5回開催（反省会を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ発表 34グループ ・作品展示 10グループ ・バザー出展 5グループ ・体験学習 2グループ ・グループ紹介 <p>②館外学習 参加：120人</p> <p>6月12日（水）阿蘇仙酔峡、風の丘大野勝彦美術館</p> <p>③館内学習 参加：32人</p> <p>2月12日（水）「介護保険制度を利用するには」 「地域密着型特別養護老人ホームについて」 「地域包括支援センターについて」</p> <p>④総会：1回、四役会：11回、理事会：12回、代表者会：7回</p>	<p>A</p>

<p>学習ニーズに応じた学習機会 の充実</p>	<p>57. 筑紫南コミュニティセンター図書室運営事業</p>	<p>●図書室の事業を活用し、学習活動や地域住民の交流により地域づくりが展開される。</p> <p>◇市民協働事業として、平成20年度から「はらっぱの会」に委託し、図書室の運営や地域づくり・人づくりのための事業を行なった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室の開館日数 245日 ・図書室利用者数 17,399人 ・図書貸し出し冊数 27,721冊 ・図書室主催講座 32回 <p>講座内容：布で作る絵本とおもちゃ作り教室など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙教室 45回 ・すこやか広場（育児相談） 2回 ・講演会 1回 ・出張おはなし会 13回 	<p>A</p>
<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>58. 生涯学習ボランティア事業</p>	<p>●市民がボランティアバンク事業を活用し、地域づくりや学習活動が展開されている。</p> <p>◇市民協働事業として、平成18年度から「筑紫野市ボランティアバンクの会」に委託し、様々な活動を行なった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録、派遣事業（学習相談・コーディネート） ・ボランティアバンク情報の提供、発信（HP・広報誌の発行など） ・ボランティア活動の支援 ・地域活性化事業「このゆびとまれ」 場所 市内各コミセン ・ボランティア研修会・学習会 年4回 <p>①平成25年2月 1日（土） 参加：87人 ②平成25年6月22日（土） 参加：26人 ③平成25年9月28日（土） 参加：24人 ④平成26年3月15日（土） 参加：20人</p> <p>平成25年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 1,545人 <ul style="list-style-type: none"> 個人 1,077人 団体 37グループ（468人） ・ボランティア派遣件数 277件 ・ボランティア派遣人数 延4,232人 ・市民利用者数 延101,433人 	<p>A</p>

<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>59. 生涯学習フェスティバル事業</p>	<p>●学習グループが日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。</p> <hr/> <p>◇様々な機関団体や学習グループが集い、連携しながら、学習成果の発表の場、交流の場として、作品展示、ステージ発表、バザーなどを行った。また、人権、男女共同参画など行政啓発活動も行った。</p> <p>☆日 時 平成25年10月25～26日(土・日曜日)</p> <p>☆参加人数 約5,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体(人数) 141団体 1,900人 ・観覧者数 2日延べ 9,000人 <p>①実行委員会 7回</p> <p>②企画会議 14回</p> <p>③各担当会議 19回</p> <p style="margin-left: 40px;">内訳 イベント担当会議 4回</p> <p style="margin-left: 80px;">ステージ担当会議 5回</p> <p style="margin-left: 80px;">会場用具担当会議 5回</p> <p style="margin-left: 80px;">広報・案内担当会議 5回</p>	<p>B</p>
<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>60. 市民大学講座事業</p>	<p>●市民の学習機会とニーズに応え生涯学習の推進に努めることにより、家庭や地域の教育力が高まる。</p> <hr/> <p>◇学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 6月3日(月) 参加91人 テーマ:日本政治の再生は可能か 講師:藪野祐三(九州大学名誉教授) ・第2回 7月1日(月) 参加78人 テーマ:「女の一生」について 講師:川上弘文(西日本新聞編集局報道センター) ・第3回 9月2日(月) 参加59人 テーマ:私と部落とハンセン病 講師:林 力(福岡県ハンセン病に学ぶ会世話人代表) ・第4回 10月7日(月) 参加70人 テーマ:きょうから役立つ身のまわりの法律知識 講師:浦田秀徳(ちくし法律事務所共同代表 弁護士) ・第5回 11月11日(月) 参加62人 テーマ:老いの入舞 ～晩年をどう生きるか～ 講師:飯田栄彦(作家) ・第6回 12月2日(月) 参加61人 テーマ:憲法 この一年 講師:横田耕一(九州大学名誉教授) ・第7回 2月3日(月) 参加60人 テーマ:2014年世界と日本 講師:安武秀明(西日本新聞東京支社編集長) 	<p>A</p>

		<p>・第8回 3月3日(月) 参加47人</p> <p>テーマ：日本の伝統技術を用いて文化財保存修復用品を作る</p> <p>講師：狩野啓子(久留米大学教授)</p>	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	61. 家庭教育学級事業	<p>●『子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親となる』ことを目的とする。家庭教育学級間の情報交流を行い、合同企画事業を実施することにより、各家庭教育学級における活発な学習活動により家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>◇より良い子育てを目指し、親として教育力を高める為の様々な学習会や情報交流会を計画的、継続的且つ集团的に行い、保護者間のつながりの強化や家庭の教育力の向上を図った。</p> <p>現在、市内各小学校11学級、中学校5学級、夜の学級1学級の計17学級、学級生数445名</p> <p>●事業実績</p> <p>1. 17学級全体での学習活動</p> <p>① 合同開講式 5月23日(木) 講演会 参加 157人 「自分らしく 歌うがいい」～お母さんたちへのエール～ 講師：毛利 直之(C&S音楽学院 学院長)</p> <p>② 合同レクリエーション 6月21日(金) 参加 194人 実技講師(準備運動・整理運動)：大山 花司己 ・スポーツ推進委員2人</p> <p>③ 合同研修会 11月21日(木) *全体会 参加 167人 「今の子どもは・・・」という前に 講師：ワトソン ロバート *3分科会 参加 145人(15人、88人、42人) 講師：山口 祐二、だん ようこ、とみなが 明子</p> <p>2. 各学級での学習活動</p> <p>4月 学級生募集</p> <p>5月 各学級での開講式</p> <p>6月より 各学級で各々学級プログラムに沿って 6回～10回学習会実施 年間 計128回、参加のべ1,731人</p> <p>3 家庭教育学級連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17学級より3～6名の役員、計70人 ・17学級間の活動促進、情報交換、相互の連携と親睦を図るため毎月1回定例会議、役員会を実施。研修会なども実施し、家庭教育学級の充実に取り組んでいる。 <p>4 文集 あゆみ編集・発行</p> <p>教育長の言葉、新転任の校長先生より、推進方策、連絡会規約合同行事、17学級の各学習内容など1年間の活動状況をまとめた冊子。</p>	B

		1年間の学級の取り組みをふり返り、その成果や問題点を整理し、次年度につなげる活動のあり方や内容の充実を図るためのものである。学級生全員で作り上げる。	
文化財・文化芸術活動の充実	62. ちくしの子ども劇場補助金	<p>●地域の中で子どもたちがいきいきとした「子ども時代」を過ごすための環境づくりを目指す。また、子どもたちに芸術に親しむ心と感受性を育てるとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起する。</p> <p>◇子どもの諸活動に関する事業（子どもフェスティバル、子どもキャンプ等）、子どものための優れた舞台芸術関連事業（11作品）、子どもの表現活動（わくわくステージ）、子どもの権利条約普及啓発事業、子育て支援関連事業（パートナー講座）などを通して子ども達が生き生きと活動できる環境を提供することができた。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	63. 文化団体連合会補助事業	<p>●連合会への加盟団体が増加し、市民の芸術文化事業が盛んになること。連合会の事業が継続され、多様な事業がおこなわれること。安定した運営がおこなわれること。</p> <p>◇第4回文化祭を開催するとともに、ふくおか県民文化祭福岡Ⅱブロックin春日市に参加し、市民の文化芸術への関心と高揚を図ることができた。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	64. ちくしの歴史・文化発信事業	<p>●地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図る。</p> <p>①市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図る。 ②市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうと伴にこれを支援する。 ③学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行なう。</p> <p>◇国の史跡に指定された「阿志岐山城跡」、「宝満山」などに関する企画展やシンポジウム、講座等を実施し市民に地域の歴史への理解を深めた。また、体験学習やゲストティーチャーなど小中学校の学習支援を行うとともに、コミセンへの講師派遣など市民学習の支援を行った。</p> <p>1. 展示（企画展／4事業、ロビー展示／通年） 「武蔵寺と二日市温泉」展 4月27日～6月23日 「日田街道－その歴史と美」展 7月13日～9月8日 「発掘！阿志岐山城跡」展 10月5日～11月17日 ・関連シンポジウム「阿志岐山城を語る」 10月12日 「昔のくらし」展 12月14日～3月30日</p> <p>2. 学芸員関係（3事業） ①講座等 ・歴史講座（7月28日・8月18日・9月7日） ・市民歴史ゼミナール（1月25日・2月22日・3月22日） ・キッズ歴史講座（7月27日・8月8日）</p>	A

		<p>②支援事業 ・小学校学習支援／来館26回／ゲストティーチャー6回 ・職場体験等受入れ／4回 ・コミセン等への学芸員派遣／29回</p> <p>③他館との共同事業（九州国立博物館）／2件、6回</p> <p>3. 資料貸出／344点 資料閲覧／151点 回想法にかかる資料貸し出し(随時)</p> <p>4. 市民協働事業 筑紫地区文化継承事業（市民提案型市民協働モデル事業） 御笠振興会</p>	
文化財・文化 芸術活動の充 実	65. 資料収集保管事 業	<p>●資料を収集し、適切に保存・管理することにより、活用できる状態にする。</p> <p>◇資料の収集、映像資料の電子化を行い、資料の活用を図った。また I P M（総合的有害生物管理）の視点による博物館の日常管理と文化財害虫モニタリングを行い、館内環境の改善を行った。</p> <p>収集資料／163点 資料貸出し／344件 資料閲覧／151点 写真提供49点 博物館資料の電子化／映像資料34,880点 文化財害虫モニタリング業務</p>	B
文化財・文化 芸術活動の充 実	66. ちくしの人形劇 まつり実行委員 会補助金	<p>●芸術作品の創作、人形劇の鑑賞を通して、ゆとりある心豊かな青少年・少女を育てる。</p> <p>◇多くの親子連れが参加し、人形劇を通じて親子が感動を共有し、また子どものゆたかな心を育てる場を提供することができた。地域公演を行い、まつり以外でも人形劇を観る機会を提供できた。まつりをサポートする人を育成するため講座を実施した。</p> <p>・ちくしの人形劇まつり（11月29日）参加者延べ1,939名 ・ちくしの人形劇まつりin御笠（7月20日）参加者30名 ・サポーターズ講座（6月16日・7月14日・7月20日・10月3日）</p>	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	67. 阿志岐山城跡保 存整備事業	<p>●阿志岐山城跡を一般公開できるようにし、市民が国指定の史跡を見学し、文化に親しみをもつことができる。</p> <p>◇阿志岐山城跡保存整備基本計画作成業務を委託し、作成した。</p>	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	68. 永岡地区遺跡確 認調査	<p>●永岡公民館増築工事に伴う開発申請について、重要遺構（長丘駅・長岡城）の存在を確認するため、平成23年度から平成25年度まで確認調査を行う。</p> <p>◇重要遺構（長丘駅・長岡城）の存在を確認する、3ヶ年に及ぶ調査が終了した。その成果は、『永岡地区遺跡確認調査』報告書として刊行した。</p>	A

文化財・文化芸術活動の充実	69. 阿志岐山城跡特別企画展事業	<p>●阿志岐山城跡の特別企画展を実施することにより、市民が国指定の史跡を学習し、文化に親しみをもつことができる。</p> <p>◇平成24年3月の指定記念シンポジウム及び特別現地公開に続き、市歴史博物館において「発見！阿志岐山城跡」展及び「阿志岐山城跡」シンポジウムを実施し、「阿志岐山城跡」の周知に取り組んだ。</p> <p>企画展のチラシを市観光協会、市内のコミュニティセンター、公民館、筑紫地区の資料館及び博物館等に1,600枚、ポスターを他自治体及び関係諸機関に154枚配布した。</p> <p>企画展の観覧者数は1,805名（図録配布数によりカウント）、シンポジウムの出席者数は115名だった。</p>	A												
文化財・文化芸術活動の充実	70. 御笠地区史跡保存整備事業計画調査事業	<p>●御笠地区の国指定史跡（宝満山遺跡・阿志岐山城跡）を活用し、地域生活基盤の強化・地域経済の向上、地域雇用の拡充を図るための史跡整備をおこないます。</p> <p>◇御笠地区史跡保存整備事業計画に伴い、事業計画調査業務並びに航空写真撮影業務を委託した。</p>	A												
社会教育施設の充実	71. 小地区公民館設置補助	<p>●小地区公民館が地域のまちづくりや生涯学習などの活動拠点施設となっている。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、区が行なう小地区公民館の新築、改築及び修繕等の費用の補助を行なう。</p> <p>平成25年度</p> <table border="0" data-bbox="622 1108 1133 1288"> <tr> <td>・新築及び改築</td> <td>2件</td> <td>41,435千円</td> </tr> <tr> <td>・増築</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・用地購入</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・修繕</td> <td>15件</td> <td>11,735千円</td> </tr> </table>	・新築及び改築	2件	41,435千円	・増築	0件		・用地購入	0件		・修繕	15件	11,735千円	A
・新築及び改築	2件	41,435千円													
・増築	0件														
・用地購入	0件														
・修繕	15件	11,735千円													
社会教育施設の充実	72. 図書館運営事業	<p>●すべての市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民が本に親しむ。</p> <p>◇平成25年度図書館運営事業指数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出総冊数 706,073冊 ・利用者総数 152,491人 <p>講座等</p> <p>子どもの読書推進公演会1回、子育て支援講座1回、子どもと読書講座2回、夏休み子ども教室1回、夜間講演会1回、歴史講座1回、手作り講座1回</p> <p>ブックスタート事業12回（参加児童614人） 定例おはなし会 101回</p> <p>移動図書館事業：39ステーション巡回</p> <p>ブックスタートボランティア講座 11回 参加のべ72名</p> <p>子ども読書講演会 1回 参加26名</p> <p>職場体験：2校</p> <p>施設見学：小学校3校</p> <p>図書館司書実習：4名受入れ</p>	A												

社会教育施設の充実	73. 図書・視聴覚資料 購入事業	<p>●文化と教養が高まる。 図書資料等購入により読者の要望が満たされる。</p> <p>◇平成25年度図書・視聴覚購入事業</p> <p>*図書等購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書、視聴覚資料 19,173,789円 ・新聞、雑誌等 3,147,729円 <p>*書誌情報作成委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書誌、視聴覚情報作成委託料 2,488,448円 	A
社会教育施設の充実	74. 生涯学習センター 施設予約システム更新事業	<p>●生涯学習関連施設の市民の利用に関し、その利便性を向上する。</p> <p>◇生涯学習センター、コミュニティセンターなどでシステムを活用している。</p>	A
社会教育施設の充実	75. 子どもの読書活動 推進事業	<p>●「筑紫野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を総合的に推進する。</p> <p>◇平成25年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野市子どもの読書活動推進会議 会議回数 3回 ・筑紫野市子どもの読書活動推進担当者部会 会議回数 7回 ・よみきかせカードの作成・配布 ・「ちくしの子ども読書の日」啓発しおりイラスト募集事業 	A
生涯学習情報の共有化と充実	76. 生涯学習情報提供事業	<p>●生涯学習施設や学習に関する情報を得ることができる。</p> <p>◇「広報ちくしの」生涯学習情報 もやい 「広報ちくしの」中に2ページ掲載、月2回年間24回発行</p> <p>◇生涯学習情報誌もやい「学習情報号」 年度末に市内の公共施設に年1回配布（24ページ、8,000部）</p> <p>◇生涯学習課関連ホームページ アクセス回数112,542回</p>	B
施策の総合推進	77. 筑紫地区社会教育振興協議会（公民館部会）	<p>●筑紫地区における公民館事業等の現状や課題などの情報交換を行い、公民館活動が活性化している。</p> <p>◇社会教育公民館事業についての学習会研修会や4市1町での事業の情報交換会などを行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館部会（4回） ・研修会（筑紫地区公民館事業担当者等研修会） 6月 大野城市 176人参加 ・福岡地区公民館研修会 2月 福津市 参加者：79人（内 筑紫野市18人） 	B

<p>施策の総合推進</p>	<p>78. 小地区公民館連絡協議会補助事業</p>	<p>●市内の各小地区公民館活動を充実させることにより、市民が学習活動、地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるようになる。</p> <p>◇活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会・五役会・理事会 回数（総会1回・五役会5回・理事会5回） ・小地区公民館館長・主事等研修会 日時：6月1日（土） 参加者：71人 ・福岡県公民館大会 場所：福岡市 日時：8月29日（木）～30日（金） 参加者：26人 ・筑紫野市小公連推進大会 場所：さんあいホール 日時：9月7日（土） 参加者：242人 ・地区別視察研修会 <ul style="list-style-type: none"> 山家地区 日時：1月18日（土） 参加者：99人 筑紫地区 日時：1月25日（土） 参加者：66人 山口地区 日時：2月 1日（土） 参加者：64人 二日市地区 日時：2月16日（日） 参加者：74人 御笠地区 日時：3月 1日（土） 参加者：69人 ・福岡地区公民館研修会 場所 福津市 日時：2月22日（土） 参加者：18人 	<p>A</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>79. 小地区公民館主事設置補助事業</p>	<p>●地域における社会教育活動の振興を図るため、公民館主事を設置することで、生涯学習活動・地域活動が活性化し公民館が地域の交流の場や地域活動の拠点になる。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、小地区公民館主事の設置を促進することを目的する。</p> <p>（主事 88人） 補助対象者数 86人</p> <p>補助金額 補助対象主事数 24,000円 → 33人 36,000円 → 53人</p>	<p>B</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>80. 市立学校PTA協議会補助金</p>	<p>●各学校とPTAとの連携を深めることにより、児童・生徒の健全な育成と保護者・教職員の資質向及び教育の振興を図る。</p> <p>◇支援策として補助金432,000円を交付した。（27,000円×16校）</p> <p>協議会の活動内容</p> <p>広報研修会、委員合同研修会、市長・教育委員会・校長・合同懇談会、スポーツ研修会、人権問題研修会</p>	<p>A</p>

<p>施策の総合推進</p>	<p>81. 市婦人会補助金</p>	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇女性の地位向上と社会参加をめざし、各機関団体と協力し、地域の福祉活動にも貢献した。 会員数520人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性大学（婦人会主催） 36学級 ・市民大学（委託事業） 8講座 ・女性問題講座 5講座 青少年支援事業 5学級 （小学生書道(A)(B)(C)・絵画・そろばん教室） ・子育て支援事業 1学級（楽しくクッキング教室） ・婦人会同和教育推進 講座、研修会等に18回出席 ・消費者友の会 暴力追放啓発、結核予防、赤い羽根共同募金 ・生涯学習フェスティバルに出店、展示、ステージ発表 ・古紙回収活動 6回 3,750kg 	<p>A</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>82. 各地区婦人会補助金</p>	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇二日市婦人会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動（古紙回収） ・結核予防街頭キャンペーン ・日本赤十字社ボランティア（清掃活動） <p>◇御笠コミュニティ女性会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月11日 クッキング教室 ・8月29日 手芸教室 ・9月18日 いきいきライフ学習会 ・10月3日 館外視察研修会 ・10月13日 御笠地区市民体育祭 受付, 接待, トイレの見回り, 清掃, 総踊りを担当 ・11月9～10日 御笠地区市民文化祭 体験コーナー担当 展示, 学習活動の紹介 ステージ参加 ・11月29日 手芸教室 ・12月27日 生け花教室 ・1月25日 男女共同参画推進学習会 ・2月20日 クッキング教室 ・吉木小学校区子どもアンビシャス広場に協力 通常広場開所 月2回（水・金）87回 その他イベント 9回 	<p>B</p>

4. スポーツ・レクリエーションの推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
スポーツ施設の充実	83. 中学校ナイター施設運営事業	●ナイター設備のある筑紫野中学校、筑山中学校の2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの振興を図る。	B
		◇利用者数：3,083人 (内訳) ・筑紫野中：2,515人 ・筑山中：568人	
スポーツ施設の充実	84. 小中学校開放体育施設運営事業	●小中学校体育施設を社会体育施設として開放し、各種スポーツの場の提供と、各種スポーツ団体及びグループの交流を促し、生涯スポーツの振興を図る。	B
		◇小中学校16校の開放を行った。 ・年度当初に、学校開放運営委員会を開催し、定期団体の利用調整及び利用上の注意などの確認を行った。 ・定期団体以外の利用者の利用調整の実施	
スポーツ施設の充実	85. 小学校プール市民開放事業	●多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られる。	A
		◇利用可能プール：市内全小学校 11校 ・利用期間：夏期休暇期間（7月21日～8月12日） 20日間 ・利用時間：10時～16時（12時～13時は昼休み） 利用者数：20,901人 (内訳) 子ども19,904人、大人997人	
スポーツ施設の充実	86. 農業者トレーニングセンター運営事業	●スポーツの楽しさ、健康の増進等を図るため、多くの市民が利用できるよう適切な施設の提供をするとともに、講習会及び教室、イベントを開催する。	B
		◇定期利用登録団体数：43団体 ・全体利用者数 73,311人 内個人利用者数 16,061人 ・にこにこヘルシー教室 ・すきスポ ・サマーチャレンジクラブ ・ダンスエアロ ・トレーニングルーム初回講習会 以上の教室開催やその他学校・地域からの要請に対し職員の派遣や講座等実施	

<p>スポーツ施設の充実</p>	<p>87. 指定管理業務委託事業</p>	<p>●民間に委託することにより、効率的な施設の管理を行い、経費の節減を図る。また、民間の知識や技術を取り入れることにより、市民に魅力のある施設の運営を行い、利用者の増大を図る。</p> <p>◇施設の維持管理・運営に関する業務を委託し、効率的な業務を行った。 [指定管理者に委託した施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の利用状況 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">勤労青少年ホーム</td> <td style="text-align: right;">24,784人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">農業者トレーニングセンター</td> <td style="text-align: right;">73,311人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">筑紫運動広場</td> <td style="text-align: right;">23,691人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">山家スポーツ公園</td> <td style="text-align: right;">35,080人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">御笠運動広場</td> <td style="text-align: right;">15,156人</td> </tr> </table>	勤労青少年ホーム	24,784人	農業者トレーニングセンター	73,311人	筑紫運動広場	23,691人	山家スポーツ公園	35,080人	御笠運動広場	15,156人	<p>B</p>
勤労青少年ホーム	24,784人												
農業者トレーニングセンター	73,311人												
筑紫運動広場	23,691人												
山家スポーツ公園	35,080人												
御笠運動広場	15,156人												
<p>年齢や体力に応じたスポーツの振興</p>	<p>88. 市体育協会補助金</p>	<p>●体育協会を支援し、協会に加入する様々なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。</p> <p>◇加盟団体数：22団体＋スポーツ少年団 会員数：5,919人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回の代議員総会、報告会、加盟団体長の会を開催し、定期的に理事会、執行部会、評議員会及び専門委員会を開催 ・主催事業として、「宝満つばきマラソン大会(延1,093人)」・体協研修会(71名)・少年スポーツ指導者研修会(56名)等を実施している。年2回、広報「体協だより」を発行 	<p>A</p>										
<p>年齢や体力に応じたスポーツの振興</p>	<p>89. 生涯スポーツ振興事業</p>	<p>●生涯スポーツとして各種のスポーツ教室等を開催し、自分にあったスポーツを日常生活の中に取り入れる環境づくりをするため、委託事業として実施した。</p> <p>◇平成25年度 教室としては、ソフトテニス初心者(延べ67人)・初心者弓道(12人、延べ109人)・1日テニス(40人)・サッカースクール(70人、延べ6,300人)・楽しいソフトボール(39人)が実施された。また、大会は、宝満つばきマラソン大会(延べ1,093人)及び剣道大会(525人)の2大会が開催された。</p>	<p>A</p>										
<p>年齢や体力に応じたスポーツの振興</p>	<p>90. 各校区体育振興育成補助金</p>	<p>●各校区体育振興会を支援し、各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの年間事業を企画、実施し、年齢や体力に応じたスポーツの振興と校区内住民の親睦を図る。</p> <p>◇10校区の体育振興会に各60,000円を補助している。</p>	<p>B</p>										

年齢や体力に応じたスポーツの振興	91. 市民体育祭補助金	<p>●市民がスポーツ・レクリエーションをする機会をつくり、多くの市民が参加するような市民体育祭を開催する。</p>	A											
		<p>◇平成25年10月13日（日）に一斉に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天拝小学校区（5月26日）、筑紫小学校区（各行政区ごとに実施） 筑紫東小学校区（10月6日） ・原田小学校区は、18年ぶりに市民体育祭を開催 ・その他の校区においても、ウォークラリーや運動会形式で開催 （阿志岐小と吉木小は、御笠地区として合同開催） ・各校区補助金：4,134千円 ・市民体育祭参加者数：8,129人 												
年齢や体力に応じたスポーツの振興	92. 天拝山ロードレース大会実行委員会補助金	<p>●ロードレースを開催することにより、生涯スポーツを推進し、健康の増進及び体力の向上につなげる。</p>	A											
		<p>◇平成25年11月23日に実施</p> <p>選手参加者</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">10.0km</td> <td style="text-align: right;">130人</td> </tr> <tr> <td>5.0km</td> <td style="text-align: right;">390人</td> </tr> <tr> <td>2.5km</td> <td style="text-align: right;">264人</td> </tr> <tr> <td>万葉の筑紫路</td> <td style="text-align: right;">162人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">946人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ等</td> <td style="text-align: right;">236人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td style="text-align: right;">1,182人</td> </tr> </table>		10.0km	130人	5.0km	390人	2.5km	264人	万葉の筑紫路	162人	計	946人	スタッフ等
10.0km	130人													
5.0km	390人													
2.5km	264人													
万葉の筑紫路	162人													
計	946人													
スタッフ等	236人													
総計	1,182人													
年齢や体力に応じたスポーツの振興	93. 各種事業・教室開催事業	<p>●市民のだれもが、いつでも、どこでも、自発的・主体的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして開催している。</p>	A											
		<p>◇大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳大会： 延べ231人参加 ・市民駅伝大会： 延べ440人参加 ・スポレク・フェスタ： 4,026人参加 <p>(教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツセミナー 88人参加 ・福祉レクリエーション講習会 延べ125人参加 ・サマーチャレンジクラブ 延べ102人参加 ・にこにこヘルシー教室 延べ79人参加 												

幼児・児童・生徒のスポーツ機会の充実	94. 筑紫野市立小学校体育施設一般開放事業	●子どもたちの居場所づくりとして、市内小学校11校のグラウンド及び体育館を毎週土曜日の午前中開放している。	B
		◇体育館・運動場開放延べ日数：363日 利用者数延べ人数 15,664人（1日当り利用者数平均：43人）	
指導者・ボランティアの育成	95. スポーツ推進委員運営事業	●スポーツ推進委員の能力を向上させ、地域住民に対してスポーツに関する指導・助言やスポーツに関する事業の支援を行うことにより、スポーツの振興を図る。	A
		◇各校区体育振興会等から推薦された25人と学識経験者2人の計27人をスポーツ推進委員として委嘱する。 企画委員会（委員長、専門部長）及びスポーツ推進委員会を毎月それぞれ1回開催し、各校区の連絡調整やスポーツ推進委員の研修、市や団体の行事運営等への協力を行った。また、小学校のスポーツテストの補助や、地域活動への実技指導等も実施した。	
施策の総合推進	96. 全国大会出場補助金	●全国大会に出場する個人、団体に対して、筑紫野市における社会体育に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。個人に20,000円、団体に200,000円補助する。	A
		◇全国大会等出場者への支援 補助金交付者 個人55人 団体 5団体	

認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成

5. 人権意識の向上

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
市民・企業への人権意識の啓発	97. 人権問題啓発実行委員会運営事業	●すべての市民に人権意識の大切さを理解してもらう。 ◇82行政区のうち81行政区で市民懇談会が開催された。機関団体研修については、21機関団体のうち20団体で実施。	A
市民・企業への人権意識の啓発	98. 人権・同和問題啓発冊子の編集・発行事業	●人権問題に対する正しい認識と人権感覚豊かな市民の育成によって、人権が侵害されない市民生活ができるようになっている。 ◇・解放への一歩第40集 10月15日発刊 ・広報「人権問題特集号」12月1日発刊 市内全世帯配布 ●発刊部数 各40,000部 ・人権作文集「くさび」3月1日発刊 児童・生徒を介してPTA及び公共施設を通して配布 ●発行部数 10,000部	B
市民・企業への人権意識の啓発	99. 行政区人権問題推進委員会育成助成金	●市民の共同生活の場である行政区ごとに組織的な人権問題啓発活動の推進と学習活動を展開することによって、人権問題の早期解決を目指し、市民一人ひとりが人権意識の高揚に努め、人権を守り、差別をしない、させない、豊かな地域社会を実現する。 ◇82行政区すべてにおいて行政区人権問題啓発推進委員会が組織され、81行政区で市民懇談会が行われた。小学校区ごとの推進員研修会は、11小学校区中、10小学校区で実施した。	A
市民・企業への人権意識の啓発	100. 公民館等の機能を活かした人権教育活性化事業	●隣保館の機能を活かしてさまざまな事業を実施することにより、対象地域における住民相互のつながりを強化し、人権意識を高める取り組みによって地域の活性化をめざす。(H25～27年度文部科学省再委託事業) ◇地元を主体とした運営委員会を組織し、下記の事業を行った。 ・既存事業（イベント）について、イベント毎に実行委員会を組織し、イベントの充実、活性化を図った。 ・住民の人権意識を高めるため、人権問題に関する研修会を実施した。 ・成果測定及び今後の事業展開のため、事業の実施後に参加者アンケートを実施した。	B

同和問題の解決	101. 教科促進指導事業	●同和地区の児童生徒をはじめ、学習支援を要する児童生徒の学力を向上させる。	A															
		◇市内隣保館を中心に嘱託職員を3名配置し、児童生徒の学力向上と、その達成のための基本的な生活習慣の改善を、家庭との連携を図りながら個に応じて指導している。																
同和問題の解決	102. 同和問題啓発強調月間事業	●同和問題の解決を、市民が自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため各種の啓発事業を集中的に実施し、差別を許さない社会づくりの構築に向けて取り組みを展開する。	A															
		◇7月同和問題講演会(参加者 878名) ・講演「ありがとう 子どもは悪くない」～いま、私たちおとなに求められているもの～ 講師 浄土宗西居院住職 廣中 邦光さん ・街頭啓発 ・各課等での同和問題研修会の実施 その他の事業を事業計画に基づき実施。																
同和問題の解決	103. 筑紫野市同和教育研究会運営費補助金	●筑紫野市同和教育研究会の運営を助成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別からの解放を目指す人権・同和教育を実践している。	A															
		◇年間事業計画に基づき、研究大会、学習会、講演会等を開催																
同和問題の解決	104. 識字学級	●同和地区の住民が文字を学び、自己実現のための様々な学習により差別に負けない力量が培われている。	A															
		◇学習内容 ①文字学習を中心とした学習 ②人権問題を基本に生活文化向上の学習 ③人権尊重のまちづくりを推進するための学習 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">担当者</th> <th style="text-align: center;">学級生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京町識字通信</td> <td style="text-align: center;">80人</td> <td style="text-align: center;">129人</td> </tr> <tr> <td>美咲大学</td> <td style="text-align: center;">70人</td> <td style="text-align: center;">98人</td> </tr> <tr> <td>岡田解放学級</td> <td style="text-align: center;">25人</td> <td style="text-align: center;">28人</td> </tr> <tr> <td>永岡識字学級</td> <td style="text-align: center;">26人</td> <td style="text-align: center;">19人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">201人</td> <td style="text-align: center;">274人</td> </tr> </tbody> </table>			担当者	学級生	京町識字通信	80人	129人	美咲大学	70人	98人	岡田解放学級	25人	28人	永岡識字学級	26人	19人
	担当者	学級生																
京町識字通信	80人	129人																
美咲大学	70人	98人																
岡田解放学級	25人	28人																
永岡識字学級	26人	19人																
合計	201人	274人																
同和問題の解決	105. 少年期人権啓発事業	●日常的な子ども会活動や社会体験等を通して、自らの社会的立場を自覚し、差別に負けない、許さない強い意志と実践力をもった子どもの育成を目的とする。	A															
		◇学習支援活動をはじめ、社会体験を豊かにし、人を大切にする支援活動を行った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>京町</td> <td style="text-align: center;">指導者数 33人</td> <td style="text-align: center;">子どもの数 16人</td> </tr> <tr> <td>美咲</td> <td style="text-align: center;">" 39人</td> <td style="text-align: center;">" 31人</td> </tr> <tr> <td>岡田</td> <td style="text-align: center;">" 39人</td> <td style="text-align: center;">" 8人</td> </tr> <tr> <td>永岡</td> <td style="text-align: center;">" 39人</td> <td style="text-align: center;">" 5人</td> </tr> </tbody> </table> ※指導者については、人権政策課児童センター相談員、学校教育課教科促進指導員、小・中学校教職員		京町	指導者数 33人	子どもの数 16人	美咲	" 39人	" 31人	岡田	" 39人	" 8人	永岡	" 39人	" 5人			
京町	指導者数 33人	子どもの数 16人																
美咲	" 39人	" 31人																
岡田	" 39人	" 8人																
永岡	" 39人	" 5人																

同和問題の解決	106. 各部運営学級育成補助金 (女性部)	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 女性部 237人 延べ人数 ①研修会(女性集会・識字担当者研修会) 672人 ②全体学習会 87人 ③健康学習会(栄養教室) 73人 ④福祉学習会(福祉対策会議) 48人 ⑤地域活動(子どもまつり・遊ゆうまつり) 12人 ⑥識字学級活動 2,138人 ⑦懇談会・交流会 74人 合 計 3,104人	
同和問題の解決	107. 各部運営学級育成補助金 (子ども会)	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。子ども会 70人 延べ人数 ①日常的活動(センターでの学習) 9,450人 ②合同学習、研修 109人 ③体験活動(合宿他) 110人 ④交流会(保育所・海水浴) 88人 ⑤野外活動(平和行進・キャンプ) 451人 ⑥地域活動(子どもまつり・オータム・カヌー) 56人 ⑦各種活動(ダンス教室・太鼓教室) 315人 合 計 10,579人	
同和問題の解決	108. 各部運営学級育成補助金(老人部)	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。老人部 238人 延べ人数 ①定例学習会 921人 ②老人識字 408人 ③研修会(館外で学習) 210人 ④交流会(保育所・子ども会との交流) 554人 ⑤各種教室(長生きがい教室) 330人 合 計 2,423人	

同和問題の解決	109. 各部運営学級育成補助金（成年）	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p>	A											
		<p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。成人男子 251人</p> <p style="text-align: right;">延べ人数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会</td> <td style="text-align: right;">1,966人</td> </tr> <tr> <td>②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）</td> <td style="text-align: right;">326人</td> </tr> <tr> <td>③研修会（人権・同和問題講演会）</td> <td style="text-align: right;">33人</td> </tr> <tr> <td>④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）</td> <td style="text-align: right;">330人</td> </tr> <tr> <td>⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）</td> <td style="text-align: right;">3,265人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">5,920人</td> </tr> </table>		①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会	1,966人	②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）	326人	③研修会（人権・同和問題講演会）	33人	④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）	330人	⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）	3,265人	合 計
①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会	1,966人													
②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）	326人													
③研修会（人権・同和問題講演会）	33人													
④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）	330人													
⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）	3,265人													
合 計	5,920人													
同和問題の解決	110. 各部運営学級育成補助金（青年部）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p>	A											
		<p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。青年部 175人</p> <p style="text-align: right;">延べ人数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①学習会（青年部活動者会議）</td> <td style="text-align: right;">16人</td> </tr> <tr> <td>②研修会（全国青年集会）</td> <td style="text-align: right;">8人</td> </tr> <tr> <td>③役員会</td> <td style="text-align: right;">72人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">96人</td> </tr> </table>		①学習会（青年部活動者会議）	16人	②研修会（全国青年集会）	8人	③役員会	72人	合 計	96人			
①学習会（青年部活動者会議）	16人													
②研修会（全国青年集会）	8人													
③役員会	72人													
合 計	96人													
同和問題の解決	111. 各部運営学級育成補助金（子ども会育成会）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p>	A											
		<p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。</p> <p>子ども会育成会 68人</p> <p style="text-align: right;">延べ人数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①定例学習会</td> <td style="text-align: right;">620人</td> </tr> <tr> <td>②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会）</td> <td style="text-align: right;">204人</td> </tr> <tr> <td>③研修会（人権・同和教育）</td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> <tr> <td>④交流会（子ども会・育成会共に歩く会）</td> <td style="text-align: right;">472人</td> </tr> <tr> <td>⑤体験活動（親子体験）</td> <td style="text-align: right;">23人</td> </tr> <tr> <td>⑥その他の活動（資源回収）</td> <td style="text-align: right;">60人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,429人</td> </tr> </table>		①定例学習会	620人	②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会）	204人	③研修会（人権・同和教育）	50人	④交流会（子ども会・育成会共に歩く会）	472人	⑤体験活動（親子体験）	23人	⑥その他の活動（資源回収）
①定例学習会	620人													
②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会）	204人													
③研修会（人権・同和教育）	50人													
④交流会（子ども会・育成会共に歩く会）	472人													
⑤体験活動（親子体験）	23人													
⑥その他の活動（資源回収）	60人													
合 計	1,429人													

同和問題の解決	112. 各部運営学級育成補助金(各種学級)	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。</p> <p>各種学級生 301人</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">延べ人数</td> </tr> <tr> <td>①英会話教室</td> <td style="text-align: right;">77人</td> </tr> <tr> <td>②音楽教室</td> <td style="text-align: right;">526人</td> </tr> <tr> <td>③健康料理教室</td> <td style="text-align: right;">1,392人</td> </tr> <tr> <td>④民舞教室</td> <td style="text-align: right;">164人</td> </tr> <tr> <td>⑤健康体操教室</td> <td style="text-align: right;">358人</td> </tr> <tr> <td>⑥カラオケ教室</td> <td style="text-align: right;">211人</td> </tr> <tr> <td>⑦アートフラワー</td> <td style="text-align: right;">164人</td> </tr> <tr> <td>⑧手芸教室</td> <td style="text-align: right;">180人</td> </tr> <tr> <td>⑨生け花教室</td> <td style="text-align: right;">56人</td> </tr> <tr> <td>⑩盆栽教室</td> <td style="text-align: right;">135人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">3,263人</td> </tr> </table>		延べ人数	①英会話教室	77人	②音楽教室	526人	③健康料理教室	1,392人	④民舞教室	164人	⑤健康体操教室	358人	⑥カラオケ教室	211人	⑦アートフラワー	164人	⑧手芸教室	180人	⑨生け花教室	56人	⑩盆栽教室	135人	合計	3,263人	A
	延べ人数																										
①英会話教室	77人																										
②音楽教室	526人																										
③健康料理教室	1,392人																										
④民舞教室	164人																										
⑤健康体操教室	358人																										
⑥カラオケ教室	211人																										
⑦アートフラワー	164人																										
⑧手芸教室	180人																										
⑨生け花教室	56人																										
⑩盆栽教室	135人																										
合計	3,263人																										
施策の総合推進	113. 同和教育推進5中学校区事業補助金	<p>●5中学校区の児童・生徒の人権尊重意識が高まり、一人ひとりを大切に人権・同和教育が推進されている。</p> <p>◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5中学校区に推進委員会を設置 ・ブロック研修会ならびに公開授業研究を実施 	B																								
施策の総合推進	114. 指導者養成講座	<p>●女性問題の講座の学習活動を通して「部落差別をはじめとする様々な差別の存在に気づき、地域での実践活動を通して人権思想を暮らしの中に生かし、一人ひとりの豊かな生活や幸せな未来を築くため」地域社会において核となり得る指導者を育成する。</p> <p>◇7月から2月まで、「愛」「やさしさ」「強さ」「豊かさ」をテーマとして講座を開催した。</p>	B																								
施策の総合推進	115. 筑紫地区社会教育振興協議会運営事業	<p>●筑紫地区における社会人権・同和教育の現状や課題、取り組み等の情報交換を行うとともに、同和問題をはじめとする人権問題の学習、研修機会の提供を図り、社会人権・同和教育の振興と発展を期することを目的とする。</p> <p>◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者研修会 ・啓発情報交換会 ・筑紫地区社会教育関係職員同和問題研修会等の企画運営を実施した。 	B																								